

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-72)、
廃棄物管理施設(47)、MOX燃料加工施設(2-35))」

2. 日時：令和5年7月7日(金) 13時30分～15時35分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、大岡主任安全審査官、岸野主任
安全審査官、田尻主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安
全審査官、小野安全審査官、上出安全審査官、山口係員、横山原子力規
制専門員

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX設工認総括副責任者 他4名

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年7月6日
の提出資料に基づき、今後の進め方について確認を行った。

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・再処理施設の申請対象設備の分類については、設計基準対象施設と重大事
故等対処施設の設計条件の包含関係等も含めて整理し、各分類に入る具
体的な設備、代表して説明する設備等を示す。
- ・竜巻防護対策設備については、基本設計方針を踏まえた開口部の設計の考
え方等を整理した上で、具体の検討状況を説明する。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

7. その他
提出資料
なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年

2月28日)

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画
の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

・ 令和5年7月6日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する
資料提出」

時間	自動文字起こし結果
00:00:00	そこを開始しました。
00:00:04	それではから今回日本原燃とのヒアリングを開始しますと本日のヒアリングワーレンは4年12月26日に申請があった再処理施設廃棄物管理施設、
00:00:14	また令和5年2月28日申請があった、MOX燃料加工施設の発行に申請について、
00:00:20	資料をもとにヒアリングにて事実確認を行うものになります。
00:00:24	まず規制庁側の出席者を紹介いたします。本庁会議室から古作藤原。
00:00:32	竹田。
00:00:33	田尻。
00:00:35	尾野山口。
00:00:37	その他はWEBから
00:00:39	見でお話を、が、岸野横山。
00:00:44	以上になります。それでは日本原燃の方から出席者の紹介とそれぞれの役割について説明なので、
00:00:52	説明
00:00:54	はい。
00:00:56	いやそっちで。
00:01:01	飯尾中村。
00:01:03	こちらで紹介させていただきます。はい。日本原燃側の出席者紹介いたします。
00:01:10	Steering チームから、決得野本。
00:01:14	石黒高谷。
00:01:16	石原。
00:01:18	六ヶ所側からは、もう復習及び再処理の事務局へ参加させていただいてございます。
00:01:26	本日ご確認いただきます資料でございますけれども、昨日ご提示差し上げました今後の進め方について、
00:01:32	ご確認いただきたいと思います。
00:01:35	それでは説明の方開始させていただきます。

00:01:39	はい。人間一緒でございます。それでは7月6日付で提出させていただきました今後の進め方という資料に基づいて説明をさせていただきます。
00:01:51	これは今後のやり方のご相談というか確認にもなるんですが、中身に踏み込みすぎる場合今後の進め方というのなかなかあの辺が難しいので、
00:02:02	細かい中身に入る場合は別にヒアリングを立てるということも含めて調整をさせていただければと思います。
00:02:09	特に気をつけた行政上にはですね次回出すまでにやっぱりどういうふう に修正するつもりかっていう方向性を個別にやはりヒアリングをやらせて いただいた方がいいのかなと思ってますので、それは別途、設定をさ せていただきたいと思い
00:02:21	はい。
00:02:22	それでは1ポツ、構造設計等の説明ということで、前回からの変更した 部分というのと、今回間に合わなかった部分に悩みどころがどこかとい うところを、
00:02:34	中心に説明をさせていただきます。
00:02:37	①番、第1弾(1)の①でございます。前回6月28日に第1ステップの 冷やをやらせていただきました。それを踏まえて、
00:02:48	やはり換気設備とかリンクするものの設計方針が書いてない資料がない 状態でやはり紐づけも含めて説明するのがなかなか難しいところもあっ たので、
00:02:57	一体で資料を出して説明をさせていただいた方がいいかなと思ってステ ップ2に移行したいというのが今の現状の考え方でございます。
00:03:05	ただし4月18日と書いてますがやはりここも今日修正方針に書いてま すが別途をこういうふう に修正をして、こういう紐づけをやってって いう細かいところですねヒアリング別途やらせていただいた方が、
00:03:19	18日いきなり出してなんじゃこりゃって話にはならないと思う。なるの もつらいので、そこは、18日の提出のリスクも含めて全体調整をさせて いただければと思ってます。
00:03:29	あと①の2ポツ名、個別補足説明資料ですが、本日本当は個別補足説明 資料MOXの分だけでも全体示してこれが1、2-1ですとか、これが2 -2ですっていう。

00:03:41	説明をしてこれをどういうタイミングでそれぞれ説明していくかっていう、紹介をさせていただこうと思ったんですが、すいませんここが最大の今悩みどころでして、
00:03:50	正直、第1、第1回の設工認踏まえて第2回の個別補足作って準備ができてるんですが、
00:03:58	1とか2-1、2-2といった解析評価設計という区別をあまりちゃんとしてなくてこれがですねダブルで買うやつを、じゃあどうやって出すんだっていうのも含めて、
00:04:09	本当にこれを、二つの項目を合わせて個別補足として設定するのが本当にいいのかどうかっていうのも含めてちょっと整理をさせていただきたいなと思ってます。
00:04:17	なぜこんなことが起こったかは別紙0シリーズで別紙3とかでテンプレとの紐付けをして、
00:04:25	ある程度一体で説明した方がいいと思ったものを、合体させて別紙5の中で個別補足を立てた結果、添付書類も跨ったりですね、中身も跨って、
00:04:35	実際2-1と2-2が合わせて、一つの個別補足になってたりしてるのが多くあります。ここをやはり分解をして、今回丁寧にやる必要があるんじゃないかなとも含めて、
00:04:46	どういうふうに出していくかっていうのも含めて今整理を進めてますので、
00:04:51	その結果も含めて一度お話をさせていただく必要があると思ってます。これも含めて先ほどの共通12の進め方を関係するヒアリングを設定して、
00:05:03	お話をさせていただきたいなと思ってたところでした。
00:05:06	はい。
00:05:07	はい。規制庁古作です。
00:05:10	書いてないことを結構言われないので、忘れそうなので一つ一つ話した方がいいかなと。
00:05:16	けど、
00:05:19	私もちょっと懸念してたのわあ、
00:05:23	変に資料固めちゃって、違うよっていうことがあると嫌だなというところだったので、一つ目のポツについては来週、

00:05:33	これ 18 番再来週なんで、来週に何らか
00:05:37	中間的なところでの相談事項があれば、
00:05:41	ということと理解をしましたので、その調整を、
00:05:46	早々にして、連絡いただけると。
00:05:51	これですね後のスケジュールはまだそのところは反映できなくて、これから整理して、打診すると。
00:05:59	はい。
00:06:01	で、
00:06:06	とその上で
00:06:10	二つ目のポツなんですけど、
00:06:14	わざわざ分けなくてもいいんじゃないかなっていう気もするん。
00:06:17	です。やっぱり内容としては関連してくるところもあるので、であれば
00:06:25	この部分までが 2-1 の範囲で 2-2 いう。
00:06:30	はどこでということさえわかってれば、新野一井として聞く部分を聞いた時に 2-2、反映しなきゃいけないことがあれば、そこを開きながらここを修正していきます。
00:06:42	言えばいいだけだと思うんで、
00:06:45	わざわざ分けるとかで作業を、
00:06:49	ふやしてもしょうがないかなとは思うんですけど一方で、精査をしなきゃいけないときに、
00:06:57	精査するためには分けたほうがいいってんであれば分けたらいいと思いますけど。
00:07:01	変に固執する必要はないかと。
00:07:06	ええ。
00:07:08	それも含めその来週暫定で出される際に、どういう状況かどうかっていうのを話しただいて、
00:07:16	実際にやらなきゃいけないことっていうのを確定させ、
00:07:20	されたらいいんじゃないかなというふうに、
00:07:23	はい、弓削リサーチャー。
00:07:26	個別補足のやつですいません書いてないことばっかしがちですけどもう 1 個速水どこがあってですね、正直最初に MOX あわせて第 1 回補足を作っていました。
00:07:37	今共通上位のタイミングがずれてくるとですね。

00:07:40	再処理には関係するけども工夫にはあんまりリンクがないとか、補足の中にはそういったものが出てくるので、そこの提示の仕方ちょっと工夫をしながら、提示をさせていただければなと思ってますと。
00:07:53	はい。そのやり方も含めてどういうふうを考えているかを、ご説明させていただけるようにしたいと思います。はい。
00:08:01	はい、成長の2人ですっていう意味で言うと、共通的なことが書いてあって別紙の1は最終的には北電でね、キャンプ、今は話に出たのは、正直ですね、第1回出て、外傷とかいっせいみたいなやつは綺麗に
00:08:18	詰めて分かれるんです。
00:08:20	一番悩ましいところ耐震です。
00:08:22	結構、
00:08:24	結構悩ましくて、今
00:08:29	はい。
00:08:30	他んところは結構本部会って、添付1で、最初に添付2でMOX、第1回のにも当然第1、添付1に次いで添付だけ出しますみたいなことができたんですけど、
00:08:42	耐震計算のいろんなやり方を含めても、MOXだけだとこの部分しかカバーできないけど、どうしようかなみたいなのところがあるのでその出し方をちょっとそ、別途考えます。はい。やり方を、
00:08:56	はい。1ポツの②番、2-2の入った時にどうやって今後やっていくかっていうのを前回宿題がありました。
00:09:04	今、2-1の段階で代表も含めて、共通要因で整理をして、その代表の選び方も、2-2の評価等を、なるべく同じになるようにやっていこうかなと思って今やっています。やり方として今、
00:09:20	案で考えているのは、記憶中にも、
00:09:23	膨らましていく。
00:09:25	資料3まで今使ってますけど2-1で、資料4-2、評価の部分を足していくと、評価の流れを描きつつ、代表性種でいう個別の設定がどうなっているか。
00:09:37	代表以外の部分で差分がどうあるかっていう、耐震計算のプロセスみたいなのをイメージしながら同じようにみんな、評価方針書きながら個別の設定どう考えてるかっていうところを、

00:09:47	やっていくと、いろんな評価の条件とかの設定も、1年説明できるかなと思ってますので、
00:09:54	今考えておりますのやり方を1手交していこうかなと思ってますということです。
00:09:59	はい。その時に合わせて、個別往復もそうですけども、設定根拠も含めて1で説明をしていこうということで今考えておりました。
00:10:08	これも、なるべく早い段階で、を考えてこういうふうにやっていきたいというのが具体的に見せられるようにしていきたいと思ってます。
00:10:18	はい。
00:10:21	いえ。はい。
00:10:23	それを規制庁古作です。
00:10:30	これが
00:10:33	9月上旬説明開始目標と言ってるのは具体的な説明開始だと思うんですけど、
00:10:40	今のその共通12でやりたいとかですね、そこら辺の
00:10:47	それでいけるのかみたいなことの詳細とか、
00:10:50	或いは
00:10:52	どういう項目出してくんだということだったりっていうのは、具体的に始まる前に話をしていかなきゃいけないと思うんですけど、
00:11:01	そこのあたりをいつぐらいにやるつもりか。
00:11:05	細井。はい。ゆえに一緒にございます。前回の審査会合で全体図をまず見据えた上でどう進めていくかっていう考え方も整理が必要だというご指摘。
00:11:16	上がってますので、
00:11:17	ターゲットは、まずはステップ2を始める。
00:11:23	た時、もしくはそれよりちょっと遅れたとしてもその間にですね、ステップ2はやっている。
00:11:29	つまり、
00:11:31	構成の話をしていかないと、資料としてもまた後戻りが出る可能性があるんで、その辺含めて、話ができればなと今思って。
00:11:41	具体的に、
00:11:46	が一番、

00:11:50	地域を出すときには合わせて一緒に日本の話もできればなというのが今理想ですはいを持っていると。
00:11:57	はい、規制庁古作ですわかりました。
00:12:02	進め方冷やでいいので、はい。
00:12:06	方向性とかは確認していった方がいいかなと思うんで、よろしく。
00:12:12	共通 12 の中でってなると、共通 12 の表題が変わってくるってことですよね。
00:12:20	そういう、その位置付けも含め、整理をしていただきたいと思います。 それ
00:12:28	別のヒアリングだったかもしれないけど個別説明資料の構成なり、
00:12:35	ここ何、先ほどの話も感じますけど、何のための資料として整理すんのかというところを、これまで、
00:12:46	第 1 回の時も 00 資料から、別紙 CEO じゃない、SD の別紙 5 まで整理をしていく中で、体系づけたというところではありつつも、
00:12:59	何となく、
00:13:00	実態やっちゃったやつをそのままみたいな部分も残っていて、
00:13:04	それがゆえにやりにくさば多分に出てるんだと思う。
00:13:11	その中共通 12 は 11 まであった後についているということですけど、
00:13:17	それに、
00:13:20	おいても
00:13:22	位置付けを整理してと、
00:13:24	共通 12 の頭には類型の整理を踏まえてということなのは間違いない。
00:13:30	その上で個別補足に繋がると。
00:13:37	だと思いますんでよろしく。
00:13:41	はい。乳井西原でございます。はい。
00:13:44	すいません。おっしゃっていただいたように、
00:13:46	やはり
00:13:47	どこまでどういう説明をしたいのか、あとどういうものを絡めて、リンクつけて説明するのかっていうのが一番頭に
00:13:56	必要。
00:14:00	はい。1 ページ目の (2) 番再処理の方です。一つは設計説明分類の設定等 MOX でやってきたことを再処理でどう進めていくかってところを、

00:14:11	進め方の中でお示しをするということで、今日別添3として資料はつけてますこれも考え方を整理をしてそれに応じて組み合わせていくのかなと。
00:14:24	ということで、今、作業はしてます。
00:14:26	ただやはり、分けていけば分けていくほど、細かくなりつつあるのではどれとどれが一緒なのかみたいのがまだうまく整理できてないところがあるので引き続き整理をしていこうと。
00:14:39	今のやってるのでいくと考え方は随所で書きつつも21ページですかね、2、
00:14:46	以前から非常に防護ネットとか5番とか出てきましたけど、そもそもどういう体系で整理をしてそこに来たのかみたいのが全くないまま、
00:14:56	防護対象設備等と防護ネットが並列に並んでるみたいな関係になっていたので、そこをちゃんと頭から整理をしていこうということで今やっています。
00:15:05	以前から申し上げてる通り変更点に着目してということで、変更の内容に応じて、
00:15:12	どういう防護設計をするんだみたいの紐づけだったりグルーピングできると思っているんで、そういう頭で整理をしていってるところです。
00:15:20	儘田の整理がうまくできてないところは、
00:15:25	吹き出しとか何とかを含まって書いてますけど本当にここに含んで一緒に説明できるのかみたいなところがまだうまく整理ができてると思っていないので、引き続き、整理をしていきたいと思う。
00:15:36	ということ
00:15:38	また21ページで何の判例もなくグレーハッチングしちゃってますけど、外的事象と内的事象でかぶって、結局差別化できずに同じような設計として、
00:15:48	何体どう耐えますかみたいな設計するところは、
00:15:51	新たに設計説明分類を内的でやらなくても外的であわせて説明できるんじゃないかと思いつつも、これ実際資料さん作ってみてどうなるのみみたいな話がないと、なかなか、
00:16:03	お前は一体何を考えてるんだって話になってしまうのでそういうところもちゃんと整理をしていかないといけないと。
00:16:08	思っています。

00:16:09	合わせて 23 ページですかね SE も、以前
00:16:16	いろいろとお話いただいた、
00:16:19	重大事故の整理資料を見ながら、一つ一つ、どこが個別で説明しなきゃいけないくて、どこは、結局やってることは一緒だろうと、条件が違うだけで、設計としては同じなんじゃないかっていうところも含めて、
00:16:33	23 ページ 24 ページに書いてあるようなやり方で今は整理をしています。
00:16:41	何に平均して事故が起こるか見なきゃいけない設計条件が変わるんじゃないのかということを考えて外的内的でまずわかるんじゃないか。
00:16:51	それに対して、あとは気象条件というのは外的外字外部でしょうか、みたいなものを見なきゃいけない屋外と、建屋で守られてるから中に入ってるよねみたいな設計をする屋内と、大きく設計条件が分かれるだろうと。
00:17:04	さらには
00:17:06	みずから耐えなきゃいけない建屋と機器はあるんですけど、行動によってやはり、
00:17:12	設計として考慮するときの考え方が若干変わるんじゃないのかっていうのも含めて屋外を建屋と機器配管に分けてみたいと。
00:17:19	というようなことで整理をしています。
00:17:21	これもちゃんと、これ、結局は
00:17:27	多様性知的分散悪影響防止、交通容量とか環境条件とかいろいろある中で、それぞれちゃんと見て行って、環境条件が一番最最大公約数か何かの際、
00:17:39	数が一番多いだろうと。これに対して他のやつが全部内数に入るかどうかかっていうのをやりながら、整理をしていってというのが今の様です。
00:17:47	これも実際資料 3 作ってみてどうなるかっていうところも含めて考えなきゃいけないっていうのと、
00:17:54	何を代表にして、差分ほど説明するっていう整理もしていかないと、説明の仕方が決まらないのでそういうところを継続して整理をさせていただきたいと思って、
00:18:07	今
00:18:08	こういうやり方をしながら、

00:18:10	これどうしようってね、いうのは 22 ページに※0 ちっちゃ開かれていますけど、降水容量みたいなものがやっぱりちょっとどうしてもどこ。
00:18:19	どこに入るかな、どういう説明するのかなっていうのが、
00:18:22	若干ながらまだ自分たちの頭ですっきり整理ができてないってところはありますけどここも引き続き整理をしていこうかなと思う。
00:18:29	はい。
00:18:32	はい。設計説明文の状況としてはどんなことでこれもこういうふうになっていう考え方も含めてできた時点で、ちょっとちゃんとヒアリングとしてやらしていただかないとなかなかないところがありますので、
00:18:44	これも
00:18:49	来週から SE 効果は別途また設定をさせていただく。
00:18:53	はい。
00:18:55	規制庁不足です。今言われたように、
00:19:01	大枠すまそんな考え方かなとは思ってこれまでお話してきましたので、
00:19:07	イメージは合ってきたんだろうと思いつつ、具体見ないとやっぱりわからないので、具体を示すっていうことになる、個別冷やだと。
00:19:17	ということなので、今日の
00:19:23	中でいうと、
00:19:25	(2) ①、
00:19:28	の一つ目のポツで今後の進め方部屋で 3 回やっているってなってますけど、
00:19:37	うん。はい。
00:19:39	やるかなっていう気がします。
00:19:46	なので、
00:19:47	そんな時に
00:19:49	まずはその代表云々の前にわあ、
00:19:52	具体、どこへ何がどこに入るのという。完成形じゃないにしても粗々見せてもらってイメージがあそこら辺で分けるのねと。
00:20:04	いうぐらいがわかった状態で、そのグループについて、代表こんなもんでやると、ちょうどこういうところの説明も、
00:20:15	いうのがわかるんじゃないのかなと思うので、最低限それぐらいをやっ
00:20:21	けど、

00:20:22	そうするといつぐらいにどう
00:20:25	できるかっていうのありま
00:20:27	はい。いうギリシャ
00:20:31	の再処理の
00:20:35	作業が進んでないと。
00:20:38	大家えっと、木製代表の示し方も含めて、形としては、どんどんどん ん物は作っていつているので、それに追随する形で、再処理も順次
00:20:48	作らせて、全部作る前に、サンプルで何か作って提示をするってやり方 をさせていただくというのを考えてます。
00:20:56	少なくとも来週以降、早い段階でっていう言い方になっちゃいますけ ど、できるようにしていきたいと思ってます。はい。
00:21:07	規制庁、古作ですってそれでいうと、先ほど申し上げたように完成形で なくていいので、話題に上がるだろうなっていう気がとこちですよ。
00:21:19	ていう。
00:21:20	うのを、ピックアップして分類のイメージを、
00:21:25	出していただき、そのときに、こういう説明まではこっちでやりますっ ていう、
00:21:32	これ、
00:21:33	この間の会合でボックスで、このグループ、説明項目で何、序文の、ど ういうことまで説明するつもりがあって、
00:21:46	次の
00:21:47	グループなりに、
00:21:49	先送りするのは何かというようなことを書いていただいたようにです ね、
00:21:55	整理をしていただけると、わかるんじゃないかな。
00:21:59	思います。
00:22:04	そういったのを、表でもいいですし、何。
00:22:11	また別途ちょっとしたメモでも構わないんですけど、
00:22:14	いうぐらいを来週どこかで提示いただいて、
00:22:21	金曜日なのか、翌週早目なのかっていう、
00:22:25	ことで話をしたらいいんじゃないか。
00:22:29	もう少し
00:22:30	水、どれぐらい整理できると。

00:22:41	今あれですね①までですよ。
00:22:44	それで言うと、
00:22:48	1.3g。
00:22:53	別添 3。
00:22:56	が、
00:22:59	19 ページからになってますけど、書いてあるコード自体はこれまで話をしたこと。
00:23:06	だと思っんであんまり、
00:23:09	とやかく言うほどのことはない。
00:23:12	思っんですけど、さっき言った 21 ページの灰色の部分は、
00:23:18	これは多分外的が説明グループの最初の方に来て、
00:23:24	交換して一通り説明ができると。
00:23:29	いうことから前で説明した部分については繰り返しませんということ で対応するんだろうなど。
00:23:37	思いましたので、そういうのがわかるようになれば
00:23:40	そこでここまで説明できますという見通しが立てばいい。
00:23:44	理解
00:23:53	等、
00:23:54	あと具体化が図ってくればということですけど。
00:23:59	そう。
00:24:07	このページだと、
00:24:18	一番左にて設計基準とあり、二つに分かれ、さらに細分化していくん ですけど、これ上記以外っていうのは本当かっていうのがよくわからな くて、
00:24:34	そうですね、減収でございますそういう意味で鬼頭、かなり乱暴にして る部分が 1 ヶ所あってですね一番頭の新規制基準で追加された設計要求 であって、
00:24:44	下に蒸気がいってるんですけど、その上記以外の下にさらに来る 1 個目 は、上の新規制基準で追加された要求事項に入っているんで、これを分 けること自体がかなり乱暴だと思っってます。
00:24:56	最初に入れた上で、個別の要求事項なのか、外的内的と言ってる頭の方 の要求事項とどう差別化できるのかっていうのを、
00:25:06	整理をする必要があると思っと思う。

00:25:08	今そういうことをなかなかやる頭も整理できてなかったんでドンと1回外して、個別で設定したっていうのが今の現状なので、そこはさらに整理を進めます。はい。
00:25:20	はい。小蘇武です。わかりました。
00:25:24	ここで分けて説明すべきだよなという個別内容があるという認識は、
00:25:32	共有できてると思うんですけど、こう書かれてしまうと分類おかしいなっていうふうに思っちゃうので、そこら辺は整理をしていただければと。
00:25:41	それによってその下にぶら下がってるやつが本当にこのグループでいいのかっていうのも整理できてくると思いますのでよろしく。
00:25:52	はい。乳井西田でございますはい。おっしゃっていただいている通りだと思ってまして、21 ページに電気とか賃貸とかいろいろ個別に書いてますけど、これ上の方と一緒に説明できんじゃないのみたいなのもありますし、
00:26:04	逆に言うと伊勢側で説明して DB は一緒っていうやり方も多分あるものもあるんじゃないかな。
00:26:09	そこの整理を進めないといけないという認識であります。はい。
00:26:14	はい。
00:26:17	22 ページ 23 ページ。
00:26:21	24 ページ。
00:26:23	SA 関係という
00:26:26	移動。
00:26:27	大枠は
00:26:31	そうかなと思うところは、
00:26:34	ありつつ、先ほども言われたように本当にその分離ではまるのかは、逆に分ける必要があるのかと。
00:26:40	いったことは、
00:26:50	で、
00:26:51	ここで、肝心なのは、溢水との関係というので次の別添 4 の方に話になると。
00:26:57	思うので、それとの関係を聞かせいただければという。
00:27:04	で、
00:27:05	1004 は、

00:27:07	はい、えっと、文章でいくと②側になるんですね。
00:27:11	いや
00:27:12	①の範囲で、他に確認したいと。
00:27:19	はい。
00:27:21	はい。丸野。
00:27:24	はい、西田でございます。2 ページ目本部に継ぎ目丸井に行きます。はい。
00:27:32	特に②で、まずは重大事項のところですか。先ほどの設計説明分類を決めるためには以前から言われながら私がぴんときてなかっただけなんですけど、さっきの設計説明分類って思っきり
00:27:45	この
00:27:45	DB との質問ひも紐付けか仕分けの整理が効いてくるので、これも併せてやっておかないとさっきの分類が決まらないというのと、DB と SA でどっちで説明するんだ、何を説明するのかの整理も決まらないということで、
00:27:59	これも急ぎやらないといけないということで今やっています。ただちょっとなかなか進みが悪いなというところですけど、
00:28:05	ここでもう、評価の条件とか評価の方法とかっていうのも当然決めた、どこでどうやりくりするかを決めなきゃいけないんですけど、
00:28:14	もっと、
00:28:15	聞いてくれるのか。
00:28:16	対策設備みたいなものをどっち側の設計でみたいな、例えば竜巻防護対策の盤が所廃棄と守っているものは DB でも持ってる姿勢でも、多分なきゃいけない。
00:28:27	これをどっちでどういうことを宣言して、どこまでを李側と一緒にやるのかみたいな条件出しも含めて整理をしないといけないので、その資料 3 とかでの説明の仕方が、
00:28:39	主にこの設計説明分類に聞いてくる
00:28:41	ので整理を進めております。はい。
00:28:44	イスイも然りですね、同じような話だと思う。
00:28:47	はい。

00:28:48	それをやらないと先ほどの 22 ページとかあの辺が決まらない、リリースも決まらないので、それを急ぎやろうというのがまず今認識です。はい。
00:28:59	あとは、まだ睡魔設定がつけられてないっていうかまだなかなか進んでないのが、添付の構成の方ですね、これも先ほどの説明を分けると、添付の構成は必然的に下ろすと。
00:29:10	もう決まっていくような感じもしますし、その辺をリンクとりながら整理を進めたいというのは思ってます。
00:29:16	はい。
00:29:22	規制庁、古作です。
00:29:28	適期を、
00:29:32	今言われたようにですね、
00:29:38	SA 設備って、DB 条件でいいものは、当然 DB と一緒に設定するんだ。
00:29:45	いう古藤。
00:29:47	ですし、
00:29:49	SA 特有の条件をつけると、いうものも、
00:29:54	そのものが DB でも使うのであれば、それセットで説明を当然ものとしては一つなので、していくということですし、
00:30:04	そうすると、
00:30:06	そっちを説明したらそれに、そのうちの DB 部分だけっていうものは、それに説明含まれますよねと。
00:30:14	言う古藤なのでわざわざ別出しする必要はない。
00:30:19	いうことになるんじゃないかなと思って。
00:30:22	D でぶら下がるのかわかんない。
00:30:25	というようなことを、
00:30:27	設計方針、
00:30:30	そして、
00:30:31	包含関係。
00:30:36	そう考えると、
00:30:39	先日は許可の際の整理資料で分類、SA の方での分類をしてるところの話題にしましたけど、
00:30:50	それをその DB の説明項目とも照らし合わせればいいわけで、そういった概念的なあ図なりではさっと整理をして、考え方をする

00:31:02	説明できる。
00:31:04	うん。
00:31:05	ですね。
00:31:06	この
00:31:08	あと次回、
00:31:17	以前から話題になっていた溢水みたいなもの
00:31:20	防護対象ば同じだろうと。
00:31:24	溢水評価、
00:31:34	あと
00:31:35	現状溢水なんかは、明らかに対象物が違う条件が違うの判断基準も、なんか若干違うよねみたいなことは、例えばアクセスルートとか、そういうのは SA 特有でやっぱりやるんだろうと。
00:31:49	あと過ごす場合話題になったスロッシングも、機器を守るということに対するスロッシングは、多分 DB と SA で変わらないので、合わせてやりましょうと条件が変わるだけですよ。
00:32:01	ただしスロッシングによる臨界とか遮へいの評価、
00:32:04	は、
00:32:08	あちらの条件もあるので、ちょっとそこをどういうふうに分けていこうかなってというのが今
00:32:13	考え
00:32:15	で
00:32:16	セル内の放射性物質の配管の全周破断みたいなものは、想定破損と条件あんまり、
00:32:24	なって 2 分、
00:32:27	4 分の 1Dt か意見とか風船挟んで強度でやるみたいなやつは、かかってあんま変わらないので、そこはもう合わせてやって、
00:32:34	いうことの整理は進めてやってますので、そういうことの把握、
00:32:39	考えないし公会堂がわかるように、
00:32:42	なり何なり作って説明させていただき、
00:32:47	はい、規制庁古作ですわかりました。今日の 26 ページに、今言われたようなことの、
00:32:55	気持ちが少し表れてるのかなと思いつつ、これではあるんな 2 どころでどうして、

00:33:03	この共通 12 でどうしてとかっていうのが全然わからないので、
00:33:07	まずは共通 12 としてどうしていかっていうことを、を中心に、
00:33:13	整理していただきいてそこです。
00:33:17	説明すべきことそれ、それぞれの関連性っていうのが明確になって、
00:33:22	行ったときに、
00:33:24	添付書類ではそれをこういうふうに表示しますで、現状はこうだけどう いうふうに変えます。
00:33:30	ていうのがあればそういうふうに言っていただければ、
00:33:33	いいと思いますので、
00:33:34	そのステップを考えて、
00:33:39	はい。
00:33:40	石田でございます。
00:33:44	まず今共通。
00:33:47	水井。
00:33:51	今おっしゃっていただいた
00:33:58	はい。
00:33:59	それでは、続きまして②番の中の概説竜巻と書いてる部分が今今回別添 5 ついてますので、
00:34:08	資料の方から、はい。
00:34:10	この 2 ページ、次の通りなんですけども、
00:34:15	教授の説明ということでこちらは 8 月中旬以降で予定されてますけれど も、
00:34:21	その前に整理するという事で前回も、
00:34:24	昔さしていただきます。地震の際は、
00:34:28	ありません。
00:34:30	あと、竜巻防護対策設備の開口部に係る設計の考え方、こちらを整理す ると。
00:34:35	うん。
00:34:39	二つ目のポツですけれども、
00:34:41	まずはですね、前回のヒアリングでも話されましたように、
00:34:46	まだちょっと課題だけでも提示して、
00:34:49	それを見てから結論の方が後でないんじゃないか
00:34:53	だから、

00:34:54	お伝えいただきまして、本日ちょっと用意させていただいている
00:34:59	前回ヒアリングで、波及的影響について言うと、阿藤外国の話について、
00:35:06	日程をちょっと入れさせてもらってますけどその辺はちょっと、
00:35:09	今日の話を受けて、
00:35:12	質問して、
00:35:16	何とか8月中旬の以降ですね、共通12までには、この辺の共通理解しておきたいというのが、
00:35:26	展望の話はもう、もう今このタイミングでですね。
00:35:30	ほんなら
00:35:32	添付5で27。
00:35:36	主に、
00:35:39	出てる。
00:35:41	の花についてです。
00:35:45	こちらですね、
00:35:48	その辺の話と介護の話がありましたけど、今回ちょっと開口部の話に、想定を絞って説明をさせて、
00:35:55	おります。
00:35:56	課題の考え方、出し方なんですけれども、
00:36:01	まずは、業績方針と設計方針に書いてある中身で、
00:36:06	揺るぎない部分といいますか、基本的な考え方というのを示した上で具体的に設計で何をしていたのかと、いうことを御説明衛藤しながらですね、
00:36:17	そこに今こういった課題が進んでるのかという話を少しさせていた。
00:36:21	いう構成になっております。
00:36:23	2ポツですけれども、二つ箱がありますけど、
00:36:28	ここで言いたかったのは、礼儀その箱の中の下の方にちょっと太字で書いてますけれども、
00:36:33	考え方としては設計飛来物が竜巻防護対象者、
00:36:37	相当することもする。
00:36:39	というのが、
00:36:40	根底の考え方になります。
00:36:42	その調達の募集の方法として、A社産業界てますけれども、

00:36:47	まず対策を設備で、囲んでは足りないとするというのが、考え方としてはあるんですけども、
00:36:57	設計上必要な開口とか、それ以外にもいくつか開口があるっていうので、起用できるものでできないものっていったような判断を事業者でやっていたと、いうことでございます。
00:37:09	これ前回もちょっとお話ししますが、設計上発生するという、書いてますけれども、
00:37:15	相談変位があるんで、どうしてもすぐ開ける必要が出てきてる。
00:37:20	吸排気こ
00:37:22	当間、作成すると。
00:37:26	要員の出入りするため、
00:37:29	前回
00:37:31	教えると。
00:37:32	4ポツですけども、表現変えてますが、飛来物の影響どう想定した結果、安全上っちゃうのは設備に相当しないと判断される。
00:37:41	ちょっとここ少しわかりにくいかなと思うんですが、後でちょっと例をさせてお示ししますが、物によってはもともと周辺の周辺の構造物があって、
00:37:51	飛来物の斜線が遮られるようなパターンもありますし、
00:37:57	足元を少し上げてたとしても、
00:38:00	直接当たるようなことはないだろうというふうに、個別に判断して、アベルコ投票するといったようなパターンが、
00:38:10	具体的にじゃあ何が当たるので、何が足りないのかという判断をするときの考え方、こちらちょっと定性的なものになってしまうんですけども、飛来物としては設計飛来物として挙がってるものが、
00:38:24	D、
00:38:25	サービスの進行方法これも佐々野衛藤とまではお話に挙がっているので、新規の話でないと思うんですけども、
00:38:34	遠方から水平方向が出した下向き方向には直進するというような考え方を持っていて、
00:38:41	上向き方向には飛来しないものというふうにちょっと考えていたと。
00:38:45	というのがございます。
00:38:47	また衝突の挙動ですけども、

00:38:51	1 回当たったものが違うところに当たって、またはね返ってた。
00:38:54	言ったような、軌道ではなくて、1 度当たると、かなり物が仕上げで、勢いを失ってしまうだろうと。
00:39:02	言ったような、そういう発想しておりました。
00:39:08	とは言いながらですね。
00:39:09	こういう考え方をして、改めて設備を見たところ、
00:39:16	等やってないところも話してもらって、すべてこの通りになってるかっていうとそういう場所でない。
00:39:21	なので、その辺については、きちりと何かをさせていただく。
00:39:24	いう形で考えており、
00:39:27	もし説明だけ最後に行った後、この話をさせていただく。
00:39:33	次のページに行きまして、3 ポツで、
00:39:36	課題ってなんだということで、私が説明してる段階で、すでにもう皆さん
00:39:42	同じことを持っているかなというふうに思いながら言うんですけども、先ほど 2 と説明していたものっていうのは、定性的な判断で、
00:39:51	補強してるというのが実態なんですけれども、
00:39:56	そういった考え方っていうのは、現状の説明資料含めて、
00:40:00	どこにも聞かされ、記載されてませんよね。
00:40:04	と、あと、
00:40:06	これらがですね、適切な考え方の、
00:40:10	いうところでどこまでが適切でどこまでが適切でない。
00:40:14	こういったところが少し、
00:40:17	明瞭かなと。
00:40:18	いったところが、課題かなというふうに認識してございます。
00:40:25	ちょっと例の方に行こうと思うんです。
00:40:29	29 ページ、こちらはですね先ほど説明を、考え方こうですよっていう説明をさしていただいたんですけども、
00:40:37	必ずしもそうならないんで、幾つかちょっと挙げさせていただいて、
00:40:41	こちら平野坪坂。
00:40:43	29 ページの上の方ですが、
00:40:46	気相部のところに、1 メーターほどの隙間があって、そのままそこを通過して、

00:40:54	スタッフサポートの協議、
00:40:56	直線であったと当たってしまう。
00:40:59	いった場所は普通、
00:41:01	確認されております。これにつきましてはもう
00:41:04	先ほど、明日、
00:41:07	直線で入ってきたとしても当たるとい、
00:41:11	修正していく。
00:41:13	いうふうに考えております。
00:41:15	また次のページになりますけれども、
00:41:17	先ほどのページと4ポツに該当する、もともと建屋等で下げられていて、その遮りに期待するようなものなんですけども、
00:41:27	そこの十分な強度はなかったということで、影響度がないところも含めて、
00:41:33	防護案で、もう囲ってしまうと。
00:41:35	というようなことをしようとしておまして、
00:41:38	十分強度がないにもかかわらず、そこについては、防護機能があると、防護できるんじゃないかというふうに判断してしまっていたと。
00:41:47	で、そこについては、この種圧倒
00:41:50	飛ばしますという考え方を、
00:41:53	これは考え方として先ほど示した考え方の通りになってなかったというふうに
00:41:59	もう一つ、3番に30ページの上のページですけれども、
00:42:04	こちら
00:42:06	相対変位も絡む話なんですけれども、
00:42:09	接触しても問題ないんじゃないか。
00:42:12	なぜ、
00:42:14	1度御説明
00:42:17	ましては、
00:42:20	前回は説明させていただいた、
00:42:22	方に話したと思いますけれども、
00:42:25	新たに設置するものもですね、わざわざ見つけて設計するのかなという と、これちょっと無理があるだろうということで、こちらは開いてです ね、

00:42:35	月分けた状態で、さらにラビリンス構造なるように、板を少し追加する形で接触をするというような設計に
00:42:44	いうものでございます。
00:42:45	これは先ほどちょっと説明されてないという考え方に、すべてが必ずしもそういうような形になってなかったところもございましたので、そこはしっかりと考え方に沿うような、
00:42:56	形に変えさせていただいてます。それを前提にですね、31ページから添付2というふうに書かれて、させていただいてますけれども、
00:43:06	幾つかちょっと我々は、払かなと思ってるところも少しちょっと負荷ぼって話をしたいなというふうに思っております。
00:43:13	まず一つ目のポツですけれども、
00:43:16	こちらは先ほどの資料で、
00:43:19	相対変位で、はっきりと聞いてないのは、離隔を確保する場合、
00:43:24	いう話をさせていただいてますが、
00:43:26	こちら
00:43:28	ちょっと真ん中下あたりのところに、交え建屋との対抗という、
00:43:32	これ、隙間が130mmぐらいあって、H形鋼
00:43:36	の、まああの、スリット状にこう隙間がある。
00:43:39	いうものです。これ右側には自営建屋がありますので、
00:43:46	そこはそこからの入る方向としましてはですね、この左に書いてますように、
00:43:53	頑張っって左に振るような形で、
00:43:56	斜線を引いた場合でも、反対側のネット、もしくは加工にまた当たる。
00:44:03	それから、
00:44:05	平面上で見て、やっぱ始めたぐらいの離隔距離がある。
00:44:09	いった状況です。
00:44:11	これを
00:44:14	当たってどこまではねてってというような話をすると、少し悩ましくなっってはくるんですけども、ちょっとまだ私自身これ現場も見させてもらってますけれども、
00:44:24	常識的に考えて、これが、
00:44:28	ぎゅっと曲がって当たるとか、
00:44:32	清西田れずにまた、その例。

00:44:35	うん。
00:44:36	いったらちょっと考えにくいかなというような、
00:44:39	ふうにちょっと思ってまして、このようなケースは必ずしも、
00:44:44	使わなくてもいいんじゃないかというふうに考えている例として挙げたものでございます。
00:44:49	一方で、この右側にある、課題を有する例というふうには書かせてもらってるのは、
00:44:54	実はこれ左側の冷却塔に書いてある、そのもっと左側ですね。
00:44:59	の増資させているものでして、
00:45:02	そこには、ネットがあるんですけども、そのネットとその補助防護板には実績がないものやってちょっとケースバイケースなんですけども、
00:45:13	最大 10 センチぐらいですね、あります。
00:45:16	その隙間から、
00:45:17	今度は斜線を引いて、冷却塔の方に向かって、
00:45:21	どこまで行くかっていうと、
00:45:23	こちらは、なるべく正確に見た見ようとしてみたものなんですけども、
00:45:29	冷却塔には当たらないけれども、
00:45:32	かなり近いな。
00:45:33	というような状態であることを確認しております。
00:45:37	こちらに関してちょっと私の私見、個人的な意見だけで言うと、
00:45:42	左側の
00:45:44	いいんじゃないかっていうのが私の責任ですけど、右側、
00:45:48	ちょっと状況変わったら当たるんじゃないの。
00:45:51	言ったような、
00:45:54	部分もございまして、
00:45:56	こういった右側のものは閉めた対応を指しているわけで適切なんじゃないかなと。
00:46:02	というのが、今、我々、私ども思っている。
00:46:07	この例で言いますと、じゃあどこまでが、
00:46:11	大丈夫です。どこまでが、
00:46:13	もう、
00:46:16	定量的でなおかつ
00:46:19	ですか。

00:46:21	根拠の積み上げで説明すると。
00:46:22	なかなか難しいな。
00:46:25	ありますんで、
00:46:26	これこういったものにつきましては、やはりどうしても定性的な、説明にならざるをえない部分もあるんですけども、
00:46:35	その
00:46:36	右側にあるようにこのぎりぎりを責めるようなことをすると。
00:46:39	どうしても、
00:46:41	なんていうか根拠がいるよねっていう話に多分なると思うので、
00:46:44	これ他のやつも一つ説明する気がないからあれなんですけど、
00:46:49	今私が考えているのは、
00:46:52	このようぎりぎりのところをこう頑張っで大丈夫ですっていうことを言っていたずらに審査が伸びるようなことは極力避けたいなど。
00:47:01	思いますので、
00:47:02	ここにこういう大丈夫だと思っでいるところにつきましてはですね、その状況を含めてですね、ちゃんと状況を理解していただいた上で、確かにこれは、
00:47:13	いけるでしょう。
00:47:14	いような、何ていうか、
00:47:17	説明ができるよう、
00:47:18	努めたい。
00:47:21	ちょっと全部読み上げ設定の下のやつだと、フードがありますよと、フードは地面から高さが2メートルちょっとあって、
00:47:29	そのフードの下のところにはネットが張られてるんですけど、その強度的には竜巻の強度、
00:47:36	フードの壁のところにも開口があっで、
00:47:40	地面から、
00:47:42	皆さんが50メートルでバーンっでふうに上がればですね、それは突き抜けるんですけど、
00:47:47	物理的に2メートルしか繰り合わせないところ、
00:47:52	そこを貫通するよな、竜巻、竜巻みたいですが、これから
00:47:58	ちょっと現実的じゃないかなっでいうのがちょっと思っで左側に書いてるもので、

00:48:02	一方でこの右側では、前回も前々回、
00:48:06	ヒアリングでもさんからご指摘があった時点の、
00:48:10	アイコンこれ地面から約 13 メーター。
00:48:12	ありまして、
00:48:13	真穂子から入れば、
00:48:17	落ちていって今度
00:48:19	問題に当たる。
00:48:20	いうことも考えられますし、これだけの地面からの離隔距離があって、
00:48:26	入らないっていう、なかなか、
00:48:28	証明することも難しいですから、こういったものが占めるというところで、これも先ほどと同じだと思ってまして、
00:48:36	程度問題っていうかですね、どこまでだったら大丈夫、全部閉めたらいいじゃないかっていうご意見もあるかもしれないんですけど、そこはちょっと、
00:48:46	我々としまして、ここは解雇開けあけているって言ったならあれなんですけど、
00:48:52	それでも問題ないというふうに今考えてるものにつきましたはですね。
00:48:57	ちょっと丁寧に説明させていただくしかないのかなというふうに考えている。
00:49:03	D、この 3 番 4 番はこっちのページもあるんですけど、
00:49:08	こちらですね
00:49:10	私現場も見ると、
00:49:16	正直
00:49:17	な問題。
00:49:18	なるほど。
00:49:19	ことないかなっていうのが僕の正直な感想なんですけど、
00:49:23	なぜそう思うのかっていうと、
00:49:25	この斜線っていうのがそのまま入ったとしても、
00:49:30	労働の、或いは厚さ 6 システム作られるような風に当たるか。
00:49:36	何か仮に地面に先に相当としてしまうと、
00:49:40	村本夏井の状態になってですね、これが
00:49:43	上にものすごい批判が上がって上がるようなはね方するかっていうと、
00:49:47	ランドの土のところに、

00:49:50	鉄パイプとかを機構地面に突きつけて上がるかっていうとなかなか考えにくいな。
00:49:54	で、そのような、
00:49:57	その状況を踏まえると、
00:49:59	これが上がることは考えにくいのかなというふうなちょっと思ってさせていたでいる。
00:50:07	4 ポツにつきましても
00:50:13	弾丸のようなイメージを持って、
00:50:16	間をすり抜けてスパッとまっすぐ行くってというようなことを考えると、
00:50:20	ソートするところから約 12 メートル。
00:50:23	9 メーターぐらい
00:50:24	これそれぞれ、
00:50:26	直接した場合、
00:50:28	当たるそのネットのところから、
00:50:30	その冷却塔までの距離を表してるんですけども、
00:50:34	もう冷却塔は、近い箇所に、
00:50:37	1 メーターぐらいのつかさつかさにあるんでしたら、
00:50:40	もう少しこれを周りの、
00:50:42	固めてですね、そんなに近くに当たらないような、ネットにするように
00:50:50	もう少し、
00:50:51	真ん中の図でいうと、赤枠でこのネットでとあるんですけど、
00:50:55	このオレンジの線の、
00:50:57	ちょうどこの下を突き上げるような紙、赤い線なんですけど、これをも う少し上間にしてしまえばですね、撮影も大分抑えられるんですけど、 現状はこれ 12 メーターぐらいあるので、ここまで抑えておけば、
00:51:09	問題ないだろうというふうに判断をしていたというのが、
00:51:11	もう、
00:51:12	この考え方でしたでございまして、
00:51:15	このレベル感、仮に当たったとしても中にははねる必要があるというふ うに考えると、ここは問題ないのかなというふうに考えているというこ とで、
00:51:25	このような、

00:51:26	大きくはですね、先ほど1から4の大綱の説明をさせてあと分類があるという話をさせていただいたんですけども、
00:51:33	ここにやっぱり状況がある中でですね。
00:51:36	挙動をしっかりと見据えた上で、そういったその挙動を踏まえた上で問題ないというふうに判断しているということ、個別に。
00:51:46	共通10人の中でですね、もしくは、
00:51:50	これをに一度ちょっとお時間いただいてご説明差し上げることで、
00:51:53	一つ一つ丁寧にご理解いただくというのがちょっと厳しいステップなのかなというふうに考えて、
00:51:59	課題とその課題の解決策という形でちょっと今ご説明させていただきました。私からの説明です。
00:52:08	規制庁の田尻です。まず、前提なんですけど、個別の話聞く範囲設計思想を示してくれ等、
00:52:15	会合でも言ってきたとっていて、
00:52:17	27ページの下に何か、つまり書いてあるんですけど、
00:52:23	ここに書いてある基本設計方針とかも、
00:52:26	意図的なのか、それともたまたまなのかわかりませんが、
00:52:38	設計上考慮する飛来物よりも隙間ちっちゃくするっていう設計方針をうたっては、
00:52:46	その設計法事
00:52:47	だよってというのが後ろに並んで、それを個別に話すんで、
00:52:51	ふやし、
00:52:52	考えた。
00:52:59	ここで詳細設計で飛来物の考え方って言って例えば進行方向で方向の話だけされましたけど、
00:53:06	遠方からっていうふうに言われてるんです。
00:53:09	決定次第、すみません。はい、規制庁。
00:53:14	先ほどの説明。
00:53:15	少し言われてたので、ちょっと認識を合わせていくようにしないと、
00:53:21	いけないなと思うんですけど、今言った27ページの、
00:53:25	下の枠、一番下の枠で書いてある、詳細設計の飛来物の考え方と書いてあるのは、
00:53:33	口頭だと

00:53:35	もともと申請の際はこう考えていた或いは後付的に、実態を踏まえるとかう考えていたと言わざるをえないと。
00:53:43	いうものを書いたのであって、ここをちょっと見直したいと思うと言われたような気がするんですけど。
00:53:49	その認識は合ってます。
00:53:53	衛藤。
00:53:56	概ね合ってるんですけども、それ、日本原燃の柴です。うなってると思うんですけども、
00:54:03	ここの、
00:54:05	後付つと言われれば、今、これがどこにも書いてるわけじゃないので、後付とおっしゃっていただいて、多分もう、
00:54:13	そその通りになってしまうかもしれないんですけども、
00:54:16	ここに書いてあるのは、実際にそうそういう認識を持って帰って、作っていたということ、
00:54:22	お伝えしているもので、これが正しいか正しくないかって確か出てる表できるかどうかというところを含めて、検討した上で、直すべきは直さないといけないっていう考え方になりますので、
00:54:36	これが是であることを前提に話してるわけじゃなくて、また上向き方向に飛来しないっていうのは先ほどふさぎますって私たちが説明してる通り、
00:54:44	これでいいということを我々が主張してるわけじゃないっていうのはちょっとそこだけ直したい。
00:54:48	以上です。
00:54:50	はい。規制庁小阪です。一応その意図は薄ら感じたんですけど、田尻がそこをベースにしゃべっていなさそうだったので不安だという間を入れたんですけど、
00:55:01	一方で先ほど後ろの方で説明されたのは、かといってじゃあこういう考え方で線を引いてこういうふうにしますよというところまでは、
00:55:11	オンリー、
00:55:13	きて、
00:55:14	も見きれないと。
00:55:16	いう状況で考えていきますということだったと思うので、
00:55:21	それは共通理解をした上で行って、

00:55:25	どうすんのっていうところについて聞いてもらえればと思う。
00:55:31	規制庁の田尻です。衛藤。
00:55:34	が変わるってというのは、認識はしてましたその上で、言ったのはさっき遠方からっていう話をしたのは、先ほど 32 ページの方はいけると思いますっていう話をされていたので、
00:55:47	なぜ変わるところと変わらないところがありそうだったので、結局この想定がわからないと話がきづらんじゃないかっていうのがあって、まず考え方を教えて欲しいなという印象でした。
00:55:57	遠方からっていう話をされたときに、
00:56:00	1 台のもので、設計飛来物以上のものを固縛する。
00:56:08	ある程度頑張る
00:56:10	けど、
00:56:11	どこにあるかなっていう条件は多分定まってなって、
00:56:15	これ、要はすみません、古作です。ごめんなさい。遠方からっていうのをこだわってるつもりもない人たち 2、遠方からって
00:56:24	言うんですかっていう。はい。
00:56:26	改めて言ってもしょうがないんじゃない。
00:56:28	あと 2 人です。Twitter いうと 32 ページが、大丈夫に奄美いらっしゃるので今後確認します。
00:56:38	古作です。
00:56:42	そういったところで何をもってこの範囲、このの、
00:56:48	設計
00:56:50	それ以上の損傷はないと思えるのかということ
00:56:54	整理をしていただくと。
00:56:56	ということで、斜線という時に直線化っていう話もありますし、
00:57:04	情報もさすがにねっと思われるのは、竜巻吹き上げがあるので、
00:57:08	竜巻を通過することも想定はしているわけで、
00:57:13	そうしたら直近であったって吹き上げあるでしょうと。
00:57:17	ということになるわけですから、
00:57:21	その直近のものではこんなものありませんよとかっていう、言おうとしても結局、
00:57:27	何ですかね、竜巻が巻き込んで持ってくることだってあるわけで、
00:57:32	そういうことをいろいろ考えるとあまりその除外する項目って、

00:57:38	ないんですよね。
00:57:39	そうすると、どう守るかになり、
00:57:44	図でもはね返りの部分を、さすがにはね返りでこんだけ飛ばないでしょうっていうのを、
00:57:53	気持ちはわかるんですけど。
00:57:56	と言ってもう、
00:57:57	じゃあ、
00:58:00	飛んできた少なくとも飛来物のエネルギーは制限、制限というか、設計条件として決まっているわけで、そのエネルギーが本当に吸収すんの。
00:58:11	はね返りとしてどうなるのっていうことは何らか説明しなきゃいけないと。
00:58:15	ということでその説明がつくんですかということだと。
00:58:19	で、それが面倒だからビリンス構造にしますと言っていたはずで、
00:58:25	その方針と、
00:58:27	ラベルコード取りませんっていうのはどういう関係にあるのと。
00:58:31	ということも
00:58:33	整理が必要なんだと思うんです。
00:58:35	今言われたところもうラビリンス構造はね返ってもその津2-2の壁がありますと、
00:58:44	いうふうにするのがラビリンス構造の意味だったと思うので、なぜそれができないのかというようなことも話をさせていただく。
00:58:53	かなあ。
00:58:55	いうふうに思う。
00:58:57	でます。で、さらに大本でいうと、
00:59:01	田尻の方はもっとカラーの分解している詳細設計があって、
00:59:06	それも忘れないでねということではありますけど、
00:59:11	27 ページ。
00:59:14	の、
00:59:15	設計上発生する開口とその他給与されるものと、
00:59:20	言ってるんですけど、
00:59:27	まず、
00:59:30	設計上発生する開口であって、機能に影響を与えないようにしますよということはこれまで説明していて、

00:59:38	その中でだから開口から入っているものは、そのあとのラビリンス構造なり何なりぐらい BS 構造と言ってない。
00:59:50	機能影響ない程度にしますと。
00:59:52	当然そのやみくもに飛来物が飛び込んでくるってことは、個数としてです ね、ないので、埋まるなんてことは我々も思ってないし、
01:00:02	そういったところでの設計配慮をしているわけで、
01:00:06	特に
01:00:08	設計上、発生する開口と今ここで言われてる範囲については、その範疇 の中に入る防護設計になってるか。
01:00:17	いうことでいいわけですね。なので、下から上がってくるということ を別にあって、
01:00:22	構わないわけですよ。
01:00:26	ていうところ等、
01:00:28	許容されるという中 2 開梱を許しますというのとやっぱ話が別なので、
01:00:34	そこは別だと思うからこう二つ分けて書いているんだと思うんですけ ど。
01:00:40	ちゃんとそこは
01:00:42	設計の考え方として
01:00:45	明確に前提を置いて整理をしていただきたいと。
01:00:52	なので、先ほどのラベル構造も、先ほど田尻が言った詳細設計でやるっ て言ったと。
01:00:59	ていうことだと。
01:01:01	で、そこら辺をもう少し整理、明確にした上でですね、今回
01:01:09	29 ページ以降で提示いただいたのがそのうちのどれに当たるのか。
01:01:14	対策の方針のどれに当たるのか。
01:01:17	他の対策では取れないのか。
01:01:20	いうことをちゃんと整理をいただければいいのかなと。
01:01:28	はい。日本原燃、西浦です。はい。そうしました。
01:01:35	古作ですそれで、比較的
01:01:39	資料わかるように作っていただいたことも、
01:01:42	あって、議論できたかなと思うんですけど。
01:01:46	とすると、個別費用かなと。

01:01:49	気がしていて、今言ったこれまで行った詳細設計の方針とかを並べた上で、実際どうしていくんだというところを、
01:01:59	決定してなくてもいいですし、その方針として固まり切れてなくてもいいので、こんな方向で考えているっていうのをまた次回、
01:02:07	言っていたらいいかなと思いますけど丹治さんそんなメリット。
01:02:11	手形率。
01:02:26	じゃやっぱ駄目なんです。
01:02:34	もう退職、
01:02:37	要は、ここはいいって言ってて、
01:02:40	これは、
01:02:47	ある対策の位置関係とか、
01:02:54	日本原燃、首藤です。
01:02:58	規制庁古作です 32 ページでいうと、
01:03:03	これあれですよ B 建屋の続行の壁を
01:03:09	壁に沿って立ち上がってるダクトですよ。
01:03:14	私もこれ現場見て分空いてるなあと思いながら見ましたけど、これこそラビリンス構造で周りに堰みたいなのをつければいいじゃねえかっていう気もするんですよ。
01:03:26	余計なこと言わなくてですね気持ちはわかりますよ。
01:03:30	ですけど
01:03:31	明確に設計として指定し切れる。
01:03:35	配置でもないので、あと
01:03:38	この高さのものをガー。
01:03:41	こんできてもう、
01:03:43	影響出ませんっていうふうに、中での衝突評価とかをするのも一つの
01:03:48	方策ではあると思いますが、
01:03:51	するのっていう気もしていて、
01:03:54	こういう状況において何が一番
01:03:59	妥当な対策と
01:04:02	ひょ評価に費やす労力も含めたんですけど、何が一番合理的なのかなあと。
01:04:08	いうことを考えていただいたらいいかと。
01:04:18	あとは 31 ページの下側のフードですけど、

01:04:22	これプールの側面が弱いよねっていう話も、
01:04:27	前のヒアリングでしたと思うので、
01:04:30	その点もフォローしていただければと。
01:04:35	結局横敗れたって1個入っても問題ないんじゃないっていう会もなくはないんですけど、
01:04:43	でもそれは防護設計としての考えとして、1個を許しますっていう言い方で設置されてなかったはずなので、
01:04:52	そうすると何か話が違うなっていう感じでしたから、いずれにしても、
01:04:57	説明の体系をとって、
01:05:16	規制庁不足です。元で、元のページに戻るとこっから耐震に移っちゃうようなので、
01:05:25	せっかく今日高谷さんが、
01:05:31	少し飛ばしチャイム飛ばしちゃったというかさらっと済ませちゃいましたけど、
01:05:35	溢水については先ほど重大事故のところではくっと言ってた
01:05:42	何に対して防護するのかっていう概念の中で重大事項としての水、
01:05:49	とDBの溢水とと。
01:05:51	いうことを整理をしながらということで話をしていたと。
01:05:57	ということなんですけど、そのあたりはどれぐらい。
01:06:01	議論としてキャッチアップをして、
01:06:04	どう進めるかって何かイメージある。
01:06:07	はい。日本原燃、野田でございます。
01:06:10	まさに今はそこをキャッチアップしようとしているところだというのが正直
01:06:17	本郷牧口
01:06:20	今後一番最初にやらなければならないんですが、
01:06:24	に
01:06:26	それを、
01:06:33	ちょっと100人、一種の中で、
01:06:39	はい、規制庁古作ですぜひ、
01:06:44	キャッチアップ。
01:06:45	速やかにして、

01:06:53	赴任されるにあたって聞いてると思うんですけど、技術的課題があつて止まっているというよりは、論点整理を、
01:07:03	的確に進められなくて、さまよって言うというのが
01:07:08	実態なので、それを整理をして
01:07:13	あるべき。
01:07:15	検討方向を定めて、マネジメントしていた。
01:07:20	いう古藤が Steering チーム+かなと。
01:07:26	イスイの場合ワーやるべきことは本来、
01:07:30	普通に定まっているはず。
01:07:33	それが SA の溢水っていうのが、実用炉にはない、再処理特有の
01:07:39	ものなので、その点で少し認識が薄かった
01:07:46	先ほど説明になったのアクセスルート、
01:07:50	いうところを、
01:07:53	結局こういうことじゃないっていうのをまとめてっていう
01:07:57	先ほどの SA の整理の中でキャッチアップ、
01:08:01	出され
01:08:02	で溢水としてはこういう分類ができ、
01:08:09	溢水としてこういう分類ができるということと言うと、1 制限があったり、防護対象は当然のことながら、復興後対象にも
01:08:18	高さで防護するということなのか被水なり何なりの対策。
01:08:25	いうパターンがあって、
01:08:28	そこに遊び BTS に近いがあるのかどうか
01:08:31	いうことを概念的に整理をすれば事足りる。
01:08:36	ものだと思うんです。
01:08:37	そういった点で言うと高橋さんは元職なりですね溢水の対策とかってのは把握されてる。
01:08:58	学生と。
01:09:02	を踏まえての、
01:09:09	現場、
01:09:12	は、はい。
01:09:14	あと最初
01:09:29	はい。
01:09:30	規制庁草場です。わかりました。水の分野は元からの関連の支援を

01:09:36	受けていた。
01:09:38	よく
01:09:43	耐震までのところ
01:09:49	じゃ、
01:09:53	の方の、
01:09:56	前回の大会ですねその後の寄贈等も踏まえまして、今してきたもので、
01:10:04	を変えたところは、
01:10:07	ですねいろいろ日付、
01:10:10	登録とか、内部とか安慶名
01:10:19	大前。
01:10:20	原水
01:10:23	を説明を
01:10:26	ロジック。
01:10:31	違う費用や
01:10:38	下水
01:10:41	スターム
01:10:44	やあのデータ、
01:11:04	ことでずっと
01:11:07	これではございま
01:11:08	次回の
01:11:11	資料、
01:11:13	ことでこのところを白崎いただいたという
01:11:33	で、
01:11:35	この上ですね、①番の
01:11:38	なお、統合するということを考えて、
01:11:40	その中の構成案。
01:11:43	と今ここお持ちしております。
01:11:48	の構成に、
01:11:50	構成とか、
01:11:52	アジア。
01:11:54	連鎖 B。
01:11:56	見んストーリーですね。
01:11:58	みん層理といたしまして、

01:11:59	うん。
01:12:01	の方、
01:12:05	その手順に基づいてこのように
01:12:19	ところが、
01:12:25	本文自体は、
01:12:27	だけ頁岩で、さっと読める程度のご利用
01:12:33	は学校せよ
01:12:41	大体
01:12:50	入力地震動の、
01:13:06	第2回といった形での、ここにはモデルの設定な内容というのを記載する必要があるのかな。
01:13:15	A棟、
01:13:17	大体は大体もうすでに
01:13:22	の内容を守ったものを作る。
01:13:25	2のところでは何か今回、
01:13:27	の設定の根拠のところ、別紙2-1から2-4ということで4日の内容を
01:13:40	今ですね、
01:13:42	形で同じしていないんですけど、
01:13:46	が今からお出しいたします。
01:13:51	一番、
01:13:52	八尋ございますけどそれが、
01:13:54	どうするよね。
01:13:57	で、残りの、
01:14:14	衛藤、
01:14:16	いずれほぼ説明資料に反映しようというのは、
01:14:20	てラジオ、
01:14:22	申し込み先、
01:14:23	これでございますけれども、そのヒアリングで、
01:14:27	そんな町を、
01:14:28	踏まえまして、これは最終的に
01:14:33	タイプで5で、
01:14:35	いう

01:14:36	アイピース。
01:14:41	衛藤。
01:14:43	それですね、その補足説明資料は、
01:14:57	規制庁古作ですけど、
01:15:00	と、
01:15:01	最後に言われたところ、
01:15:03	補足説明資料の本文として、骨格は確かにモデルの設定についてになる んだと思うんですけど、
01:15:12	その中に物性値非線形、
01:15:17	表層とかっていうのが、
01:15:20	ちゃんと書いてあるかっていうと多分入ってないんじゃないかなと。
01:15:28	競争。
01:15:29	4、
01:15:30	1を設定いたしますんでそれぞれの4妊娠に対して、固執してこういう 考え方に設定いたし、
01:15:44	お出ししたのはですね、本当にペラペラだったんです。
01:15:47	今回もうちょっと、
01:15:49	したもの。
01:15:55	では、今日提出された物のモデルの設定についてを見させて、
01:16:03	いただいて、13日のヒアリングの時に、その補足説明資料の本文として 4医師の分が不足していると、いうことがあればそこら辺は
01:16:15	本文相当なんじゃないのというような話を、ヒアリングですればいいと いう古藤鳥飼しました。
01:16:24	宗さん。
01:16:28	補足です。それは補足説明資料の本文ってということだけじゃなくて、そ れが添付書類で書くべき範囲の最大値、
01:16:39	になって、
01:16:42	そのうちどこまで添付に盛り込みますとかっていう話になると、
01:16:46	そのの入口として話を、
01:16:54	日本原燃
01:16:55	ございます。はい。
01:17:08	規制庁上出ですけど、今のお話で、補足説明の本文、低耐震建物 08 は、もう第1回でも、

01:17:19	出て、本文は、それなりのこと書いてあるので、
01:17:24	今日出てくる基本地盤モデルの設定についてっていうのがまるっと本文に変わるものではなくてそういうエッセンスが、耐震建物 08 の本部 2、
01:17:36	反映されてきますっていうそういうイメージなのかなと思ってたんですけど、どんなもんですか。日本原燃の方でございます
01:17:45	の通りでございます
01:17:47	本日お出しする資料がそうなりと、
01:17:51	ちゃんと構成をですね、
01:17:54	だから、
01:17:58	ですので、
01:18:00	以上でございます。
01:18:04	はい、規制庁か美術わかりました。010203 そんなに認識ずれてないんで、資料をつきたいなどは思いますけど。
01:18:14	丸さんの全体構成案っていうのは、作っていきながら、見やすいように、例えば本文でも、第 1 回と第 2 回の
01:18:25	差分を、項目を立てて書かなきゃいけないのかそれとも、それより上のポツを書いていく中で自然とわかるものなのかっていうのは、まとめながらと思っていいんですかね。
01:18:38	日本原燃の郷でございます。はい。おっしゃる通りだと思います。今頭の中でこういうふうに書きましたけれども、やはり書きながらやりやすいようにというところで、順次必要に応じて軌道修正
01:18:49	しながらやっていくもんだと。
01:18:54	はい、規制庁小磯ありもしと 4 ページ目の別紙の構成もとりあえずは分けて書いているけどっていうことは認識してます。
01:19:04	あとお願いなのが、その 7 月 31 日、出す際には、別紙 1、変更は何もないんでしょうけどちょっと付けとってもらい、
01:19:15	たいなと思っていて通行性の並びとかを見るためにも、とりあえずは、別紙 1、次のバージョンでは入った方がいいかなと思うんでちょっとよろしくお願いします。
01:19:26	日本原燃の郷でございます。承知いたしました。
01:19:30	規制庁古作です私もちょっと別紙 1 別紙 2 っていうのが気になっててですね。
01:19:37	第 1 回申請を認可するにあたっては、第 2 回、もう基本、

01:19:43	の方針は一緒でしょと。
01:19:46	同じようにやるんですねと、釘を刺しておきながら、申請を受けたらこんな話になっていると。
01:19:52	ということで、
01:19:54	母たもんかな。
01:20:01	第1回で釘を刺したことは、今言ってることをやって申請をしてくるもんだと思っていたんですこちらは、
01:20:08	それやってこなかったから不満なんですけど、やっぱ、
01:20:12	ていくと、第1回はその枠に入るはずだと思ってたんですよ。
01:20:17	結局ワ一直近なんかのデータもちゃんと考えますと、
01:20:21	考えた上での、
01:20:24	整理をしてやっていきますので、特にPA建屋については、平均からは外れるので、直近
01:20:34	で
01:20:36	A4Bについては、どうなのっていうところは若干ありつつもう、それだけ単品で議論すると第2回の逆に、
01:20:47	弊害になったりもするので、
01:20:50	直近でやるということの方針は、いや、ぶれはないだろう。
01:20:56	ということで話をしてもやり方が違うってことはまずないはずですよ。
01:21:02	そのデータを集約して使う範囲。
01:21:06	のとりが違うだけで、
01:21:09	その建屋直近だけでやるのか複数の建屋まとめてやるのかっていうただそれだけだと思う。
01:21:14	てるんです。
01:21:15	そうすると、ここで別紙1別紙2って書いてあって、そのどの範囲ですっていうことが違うだけで、後のデータの処理の仕方っていうのは変わらないはずなんで、
01:21:26	その点では変わんないっていうことがわかるようにしていただきたいなと。
01:21:31	主、
01:21:32	出ます。
01:21:35	日本原燃の方でございます。

01:21:37	実は我々も同じ認識を持っておりまして、ここまでちょっといろいろと目指したものの、ここに至ってみると、おっしゃる通り同じ文字の中で重ねるなど、
01:21:48	ございます
01:21:58	3 ページの記載内容、
01:22:03	こっちを立てたっていうか、これ減衰の
01:22:07	た、
01:22:09	最初のケース検層、
01:22:13	もう、
01:22:21	でも、
01:22:26	今、5 事業でね。
01:22:36	1 個抜けてるのかはい。赤井。はい。日本に野本でございます。衛藤おっしゃる通りですねせっかく食うやるのだから取れるデータは前にとる。
01:22:45	認識は、我々も思っております、それはボーリングによるビターの最初の一環にはなりますんで、だからちょっと減するところは、
01:22:57	どうかという話。
01:22:59	ですけれども、
01:23:07	認識があった。
01:23:15	あるような記載。
01:23:20	記載を
01:23:38	今日、
01:23:39	ご準備したの比率でってには全く説明しないですけど別途ヒアリングを設定させて、
01:23:46	一応別邸にもですねピックアップしながらやってるところだけ紹介をさせていただいておりますけど、
01:23:54	1 前回の時にあった 13 ページ、耐震設計としての耐震計算の設計プロセスですね、ここ 2-1 であるとか、二宮のところでは仕分けを
01:24:06	したいなと思っていて、
01:24:08	実際、今、すでに第 1 回の 2、耐震計算の方針であったり計算書の作成方針だったりってのはもうすでに最初井関とかは、
01:24:19	出てますんで、

01:24:20	その中でこれは構造とかを見ながら決めるんですって言うてるのは正しく構造を説明しないと繋がらないので、
01:24:28	そこを全体の流れを置きながら、ここは2-1、ここは2-2の評価とセットで書きたいのを仕分けをして、
01:24:36	2-2、1ハープは当てはまるものを、資料3とか、資料2-とか予算です紐付けて、どの基本設計をしてこれが絡むんだけど添付がどうリンクするんだ、実際、
01:24:48	これを決めるために必要な構造ってどんなものなのかみたいなものを紐づけて整理をしていこうかなと思っているところです。
01:24:56	規制庁草場です。このページの記載でいうと、
01:25:02	2-1として説明しなきゃいけない項目出していることでは、今石原さんが言った通りかなと思っているんですけど。
01:25:12	表現ぶりが非常に2-2に寄ってるなと思ってまして、
01:25:17	一つ目の吹き出しになっているモデルの設定条件ということでどうだと。
01:25:24	2-2。
01:25:25	モデルの設定条件を説明するのは2-2なんですよ。
01:25:30	それを、その前段として、どういう、
01:25:35	モデルでできる構造にするのかと。
01:25:39	いうことが
01:25:41	構造設計の方針、
01:25:43	なので、表現は裏返しにさせていただく必要があるということだと思う。
01:25:48	います。
01:25:49	その次の固有周期については2-2でいいだろうなと思うんですけど、念のため確認なんですが、固有周期を幾つにしたいからこういう構造にしますという説明は要らないですか。
01:26:06	はい、二本木西原でございますそうですね。こういう新規のところもおっしゃっていただいている通り、
01:26:14	こういう周期にしたいからってそうですね。はい。構造構造から追っていくパターンもなきにしもあらずなので、そこは仕分けをして、何をここで、2-1で説明しなきゃいけないかっていうのをちゃんと整理をして、

01:26:30	もうちょっと考えたいと思います。はい。はい。補足です物によっては剛設計にしますという構造設計があって、その後であることの確認をここで固有周期を出すということはあると思うんです
01:26:43	ね。なので一概には言えませんねということだと。
01:26:48	逆に減衰定数は、
01:26:52	減衰定数幾つにするためについてというのがあったらあるで、そこだからあれですかね溶接構造なのかボルト締結なのかという、
01:27:01	ことなのかもしれませんが、
01:27:04	その意味ではこれも表現の裏返しでということに、
01:27:13	藤はい、したの方も表現ブリーダーだけかなと思って考えは
01:27:20	わかる。
01:27:21	認識が共有できてきたのかなあと。
01:27:24	いうふうに、
01:27:26	若干許容限界のところは、
01:27:28	何が言いたいのかよくわかりませんが、マウリ裏返しの表現を考えていく中で、考え直しができるのだと思いますので、
01:27:36	検討を進めて、
01:27:47	先ほどの減資みたいなもう前回のヒアリング
01:27:54	溶接構造、
01:28:00	構造設計は何。
01:28:07	そうする。
01:28:09	2-1-7
01:28:13	そういうことが目的がちゃんとわかるようにこの文章は整理を、
01:28:22	はい。
01:28:23	本日の資料として、
01:28:27	明和医療、個別でやるべきことはちゃんと整理をして、
01:28:33	調整をさせていただきたいと思います。はい。
01:28:37	はい。はい。規制庁五藤です。
01:28:41	半分振り返りの状態になりますけど、参考でついてるスケジュール表で見ると、まず、
01:28:49	再来週にたって言ってたやつを、来週、暫定のところで、どれだけでやるかということ整理をしてご連絡いただくと。
01:28:59	いうことだったと思うんですけど。

01:29:04	あとは、耐震に関係するのは今日提出の13日ヒアリングがあってそれを踏まえて、
01:29:14	月末、
01:29:15	の補足説明資料提示に、
01:29:19	事は、
01:29:24	等、
01:29:28	SAの関係は、現状ですと、
01:29:33	来週13日に、というのがあってそれは今の来週のやつを一周前倒しにしてっと、セットで話をするっていうことで、
01:29:48	ここもはい、今おっしゃっていただいて、先ほどある程度中身で個別でやった方が、もしくはの事例においてどう方向性確認した方がっていうところは、
01:29:58	設定した上で、今後の進め方とシェアリングっていうんですかね仕分けをちゃんとして、スケジュールにも反映させていただきたいと思い
01:30:09	はい。
01:30:10	規制庁不足です。竜巻については、
01:30:14	来週波及影響、
01:30:17	今日は甲斐香田。
01:30:19	たところを、もう一つの
01:30:21	救助
01:30:22	という形。
01:30:23	ステージの、
01:30:24	費用、
01:30:27	この予定で、
01:30:32	はい。
01:30:35	ここは並行。
01:30:37	紙、
01:30:42	個別飛躍する。
01:30:52	はい。規制庁兎玉です。わかりました。
01:30:55	大体、
01:30:57	早めにやる程度感、どのような情報整理でやるかっていうのを今日出たんでいただいた。
01:31:05	方向で進めていただいて結構

01:31:07	から
01:31:08	先ほどの1週間前倒してってところの情報連絡と併せて、どう進めるのかということをご連絡いただける
01:31:33	規制庁。
01:31:35	月曜日で、
01:31:39	33ページの、
01:31:41	一番上に、
01:31:42	凡例が、
01:31:45	はい。
01:32:03	はい。
01:32:04	新居蒲生。
01:32:13	山口ですか全体を通してこの資料に関して確認。
01:32:21	すいません岸野です。規制庁岸野です。最後の33ページのこのスケジュールなんですけれども、8月の11日まで記載が、
01:32:31	その翌週までは未定ということだと思いますけども、この8月だろう。7日の週に特に資料提出として耐震関係の予定を今んとこ入れてないということで、
01:32:43	その翌週14日の週では、今のところのヒアリングは原燃の方では想定してないという、
01:32:50	考えになって、この辺りはまだ未定なので今後のヒアリング次第だという考えなのかその辺り、ちょっと教えていただけますか。
01:32:59	はい。
01:33:02	等ですね、今、ここに書かせていただいている江藤通りですね等ですね13日にヒアリング、
01:33:13	披露を提出と、それから、それにもまた、
01:33:17	平木さん。
01:33:21	ございまして、基本的にこのですね最後の中で追加で資料提出するものがあればこの後提出なり、部屋の中でアイテムを追加を
01:33:32	して、
01:33:33	それじゃ、
01:33:41	院長の内野すいませんちょっと最後の方音声終わりってしまったんですけど、適量協議会に追加するというふうに、
01:33:48	理解しましたので、

01:33:51	はい。わかりましたということ。以上です。
01:33:54	よろしい。
01:33:56	規制庁古作ですけど、念のためですけど
01:33:59	7月31日に、
01:34:03	その前にまでやっていたヒアリングを反映して補足説明資料の形にして ということで、その適用8月7日にヒアリングということなので、
01:34:14	情報の拡充の作業は並行して進めていて、適時入れていくということでは ありつつも、それが情報としてマストなわけじゃないので、
01:34:25	その点で言うと8月7日のヒアリングでのコメント反映っていうのを、 作業するのが次の週末までの
01:34:33	であって、
01:34:35	拙速に出してもしょうがないよねということかなあと。
01:34:39	です。その先になると審査会合の日図形との絡みでいつぐらいにヒア リングするかと。
01:34:46	ということにはなるかと思うんですけど、もうそれに応じてリバイスした ものを提出いただいと。
01:34:54	ということで進められればいいのか
01:34:56	でも
01:35:01	済まそう点だ古作ですその点だと
01:35:04	耐震の方はそれでイメージ湧くんですけど、それ以外のところが、どう いうふうに進むのかなっていうのがまだ
01:35:14	具体が見えてない、見えてないとちょっと語弊
01:35:18	提示がなしされていない状態なので、次、ちょっと心配な部分ではあるん です。
01:35:24	どう、
01:35:27	考えると、共通12がどれぐらいで出てくる
01:35:33	くるかということなので、暫定でやってくる来週のもの、
01:35:40	いうのを踏まえつつ、最初にどれぐらい出せるかと。
01:35:45	いうのを踏まえて、8月中の作業イメージと、
01:35:50	いうのを議論するのかなあと。
01:35:54	ますけど
01:35:56	はい。
01:35:59	おっしゃっていただいた通りで、

01:36:02	先も見据えてやんなきゃいけないんですけど、まずは、18の断面、来週から18の断面での資料の、できというか、
01:36:12	上までいけるか。
01:36:13	根井。
01:36:14	見えるのかなというふうには、
01:36:18	はい。
01:36:19	それで言う等、
01:36:23	来週暫定のもので、
01:36:27	どういう相談があって、そのヒアリングは5日にもよりますが、そのヒアリング7日14日の進め方費用だとか、そこら辺でどんな見通しかつていうのを
01:36:38	出しをして、
01:36:42	はい。
01:36:48	規制庁不足です。それで言うそうですね、来週なんですけど、この表6週間で更新をされているようなんですけど、来週は更新するのがお盆の期間。
01:37:01	になるので、もう一週分追加してもらおうと。
01:37:12	さっき
01:37:15	11日で切った。
01:37:24	その先をと思ってたところ、
01:37:36	減っちゃう。
01:37:54	20分再開で一旦休憩を挟みたいと思います。
00:00:01	規制庁山口ですと6を開始しましたそれでは原燃が振り返りお願いします。
00:00:07	はい、弓削西原でございます。はい。
00:00:10	まずは、
00:00:18	優先方針さ
00:00:51	どういうふうに提示する。
00:00:54	やりか
00:01:12	とか、
00:01:13	対処
00:01:27	等、設計説明分類に入ってくる具体の設備
00:01:31	代表性

00:01:36	あとは
00:01:38	陰謀を設備等で、
00:01:52	あとは溢水の話は、
00:02:16	最初猪瀬
00:02:19	邸とかを決める
00:02:21	共通の資料3でどう書くか。
00:02:26	話をしないと、
00:02:28	議論ができないので、そういうサンプルも含めて、
00:02:34	六ヶ所
00:02:38	はい。補足です。はい六ヶ所聞こえております。
00:02:42	古作ですけど直しはしていただいとは思いますけど678全部一緒の内容だと思うんで、
00:02:51	合併されてはい。
00:02:52	よろしくお願いします
00:03:00	7、
00:03:07	9、
00:03:09	バーの、
00:03:25	等、
00:03:29	どういう役割も、
00:03:34	は、
00:03:35	まずは共通12でどう説明したいのかと。
00:03:48	はい。
00:03:52	それはその通りだなと。
00:03:53	II
00:03:54	曲⑩ってというのは⑧と一緒にですね。にもなってくるので、
00:04:01	来て、
00:04:03	来週の資料提示でのヒアリングっていうところで具体。
00:04:13	これ別添5ですけれども、今回、戒告あっても、
00:04:18	説明はちょっとしてもらったんですけれども、そもそも開口ラビリンス構造としている。
00:04:24	その考え方も違う。
00:04:28	また、そもそも木曾温泉分析方針で書いて
00:04:42	個別の話になりますけれども、

00:04:44	基礎部分に
00:04:45	で、甲斐講師
00:04:49	大場
00:04:50	都築
00:04:51	百田。
00:04:56	違う。
00:05:04	以降個別費はね。
00:05:15	引き続いて耐震関係でございます。
00:05:18	クロールがあって、
00:05:20	一つ目耐専伊達も 08 喜納の補足説明資料に、今後集約してるかわけですけれどもこの本文に当間季沙ホーム記載内容ですね今基本
00:05:33	の設定についての広い準備するものがその内容に相当すると、いうことなんだけれども、このこうせ部署として、
00:05:46	ここまで、
00:05:59	次、
00:06:01	補足説明資料の太田新宅までの 8 には第 1 回における内容についても、これを映像を、
00:06:12	別紙 1 として、付けると言ってますけど志賀さんに聞いた時にはこれも
00:06:19	その次です。
00:06:22	調査。
00:06:26	減衰定数の設定の。
00:06:31	まじりとれる。
00:06:36	それ、
00:06:39	それをちゃんと今、
00:06:42	資料 2。
00:06:53	18。
00:06:57	今の
00:07:00	耐震設計のプロセスのここの説明で、
00:07:04	例の
00:07:07	構造
00:07:13	直しをすると。
00:07:15	あとは
00:07:17	19 番ですかね、こういう支援金、

00:07:27	2-1でも説明。
00:07:29	向こうに
00:07:37	最後の、
00:07:47	スケジュールは、来週
00:07:48	のやつは、
00:07:56	はい、以上になります。
00:08:02	成長山口です。振り返りに関し、
00:08:05	自然体積線は荒ハプニング
00:08:12	等、よろしければこれを本日麻痺